

FTC

Fukuoka Tech Community



QTUG

Kyushu Tableau User Group



Tableau Desktop Public Edition

導入講座

データを、つなぐ。見えるに、変える。



データをつなぐ
様々なデータソースに接続



データを見る化
直感的な操作でビジュアル分析



インサイトを得る
データから価値ある気づきを



伝える・共有する
分かりやすい形で情報を共有

インストーラーのダウンロード

まずはTableau PublicのWebサイトにアクセスしましょう。

<https://public.tableau.com/app/discover>

- 「作成」をクリックします。
- 展開されたメニューから「Tableau Public Desktop Edition」のリンクをクリックしてください。

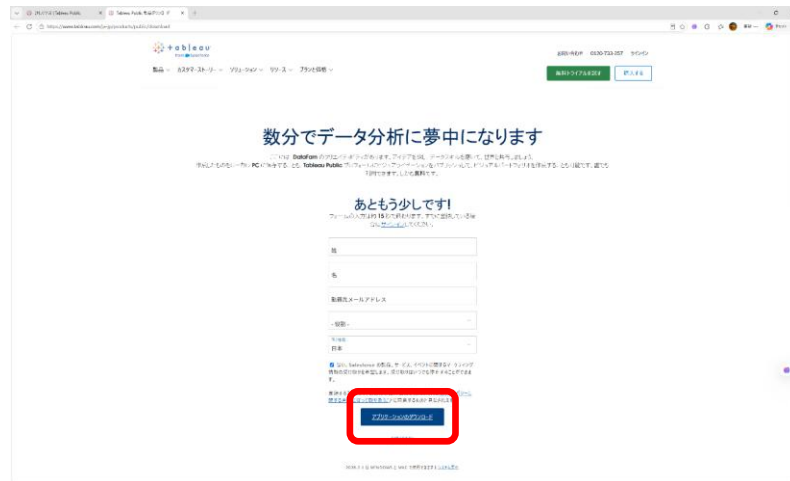
<https://www.tableau.com/ja-jp/products/public/download>



インストーラーのダウンロード

必要な情報を入力し、インストーラーをダウンロードしましょう。

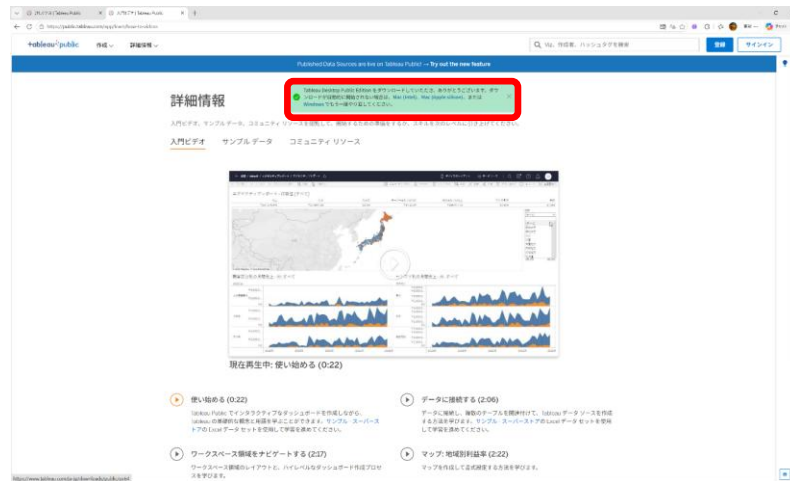
- 氏名やメールアドレスなどを入力する必要があります。
- 入力後、「**アプリケーションのダウンロード**」ボタンをクリックしてください。
- インストーラーのファイルサイズは700MB弱あるので、テザリングではちょっと厳しいです。



インストーラーのダウンロード

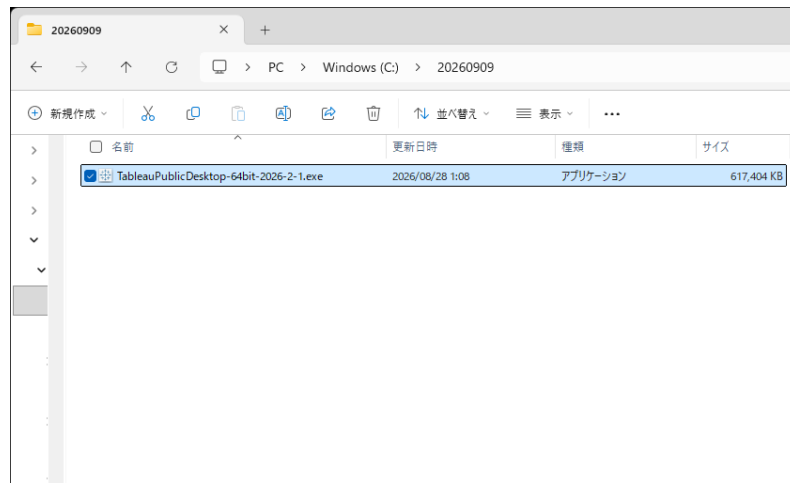
自動でダウンロードが始まらない場合は……

- 「「Tableau Desktop Public Editionをダウンロードいただき、ありがとうございます。」ダウンロードが自動的に開始されない場合は、」の後に続くご自身がお使いのOS名のリンクをクリックしてください。



インストーラーの実行

- ダウンロードしたインストーラーを実行しましょう。



インストーラーの実行

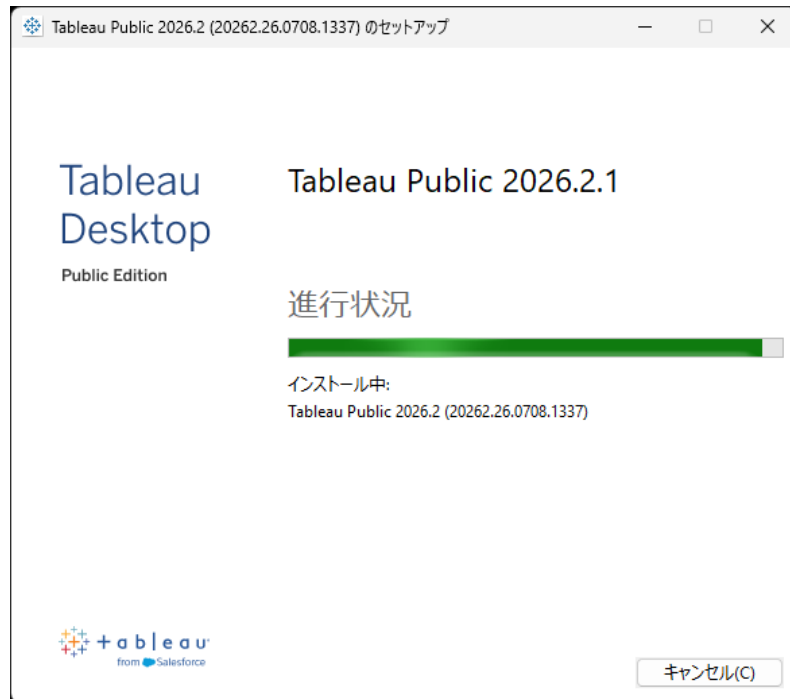
- ライセンス契約の条件を読んだ上で、「**このライセンス契約の条件を読み、同意します**」にチェックを入れましょう。
- 「**製品の使用状況データを送信しない**」のチェックについては各自でご判断ください。



インストーラーの実行

※スクリーンショットを取れない画面をひとつ挟んでいます

- ユーザーアカウント制御の設定によっては、「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」という画面が出てきます。その場合は「はい」を選んでください。
- 「進行状況」のプログレスバーが出ている間は、何も操作せず完了を待ってください。



FTC × QTUG

Fukuoka Tech Community

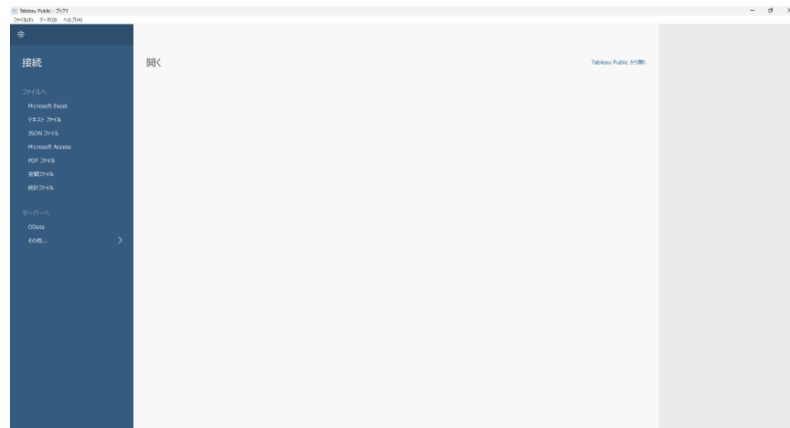
Kyushu Tableau User Group

データソースの読み込み ワークシートの起動



さっそく使ってみましょう！

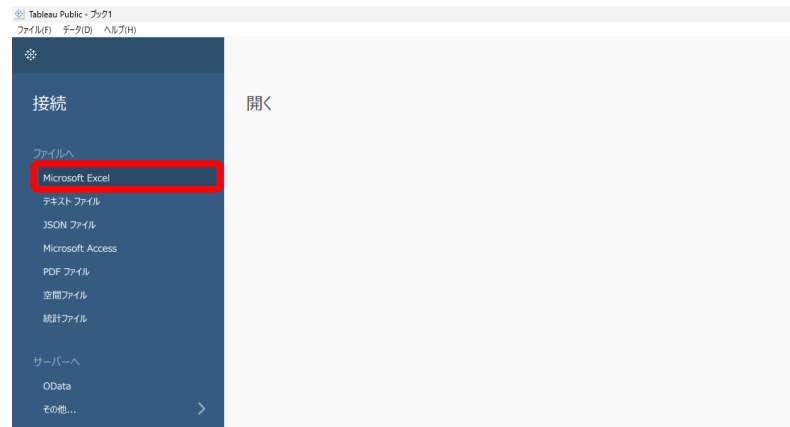
- インストールが完了すると、自動でTableau Desktop Public Editionが起動します。
- なお、アプリのタイトル部分では「**Tableau Public**」と表記されています。



まずはデータソースに接続するところから

最初のステップは「データソースに接続する」ことです。

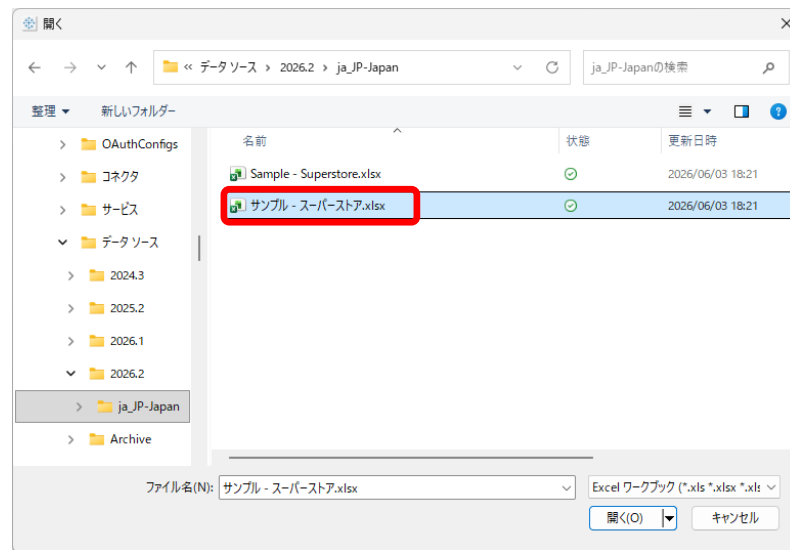
- Tableau Desktop Public Editionでは、Excelファイル、テキストファイル（CSVファイルもこちらから選択）などがデータソースのファイルとなります。
- 今日は、他の方の解説書や解説ブログ記事でもよく使われるファイルを使いましょう。
- 「**Microsoft Excel**」の部分をクリックしてください。



Excelファイルをデータソースにする例

「ドキュメント」フォルダから掘り下げていってください。

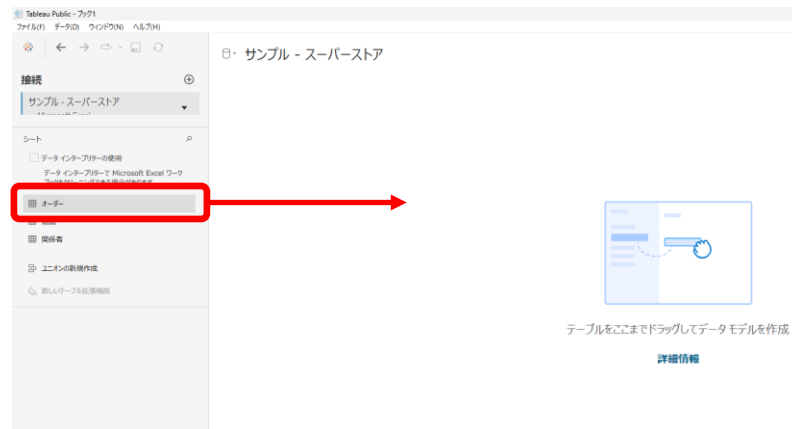
- [ドキュメントフォルダ]>マイ Tableau リポジトリ>データソース>[バージョン名]>ja_JP-Japan>**サンプル - スーパーストア.xlsx**を開いてください。



Excel内のシートを選択する

「サンプル - スーパーストア.xlsx」のブックには3つのシートが含まれています。

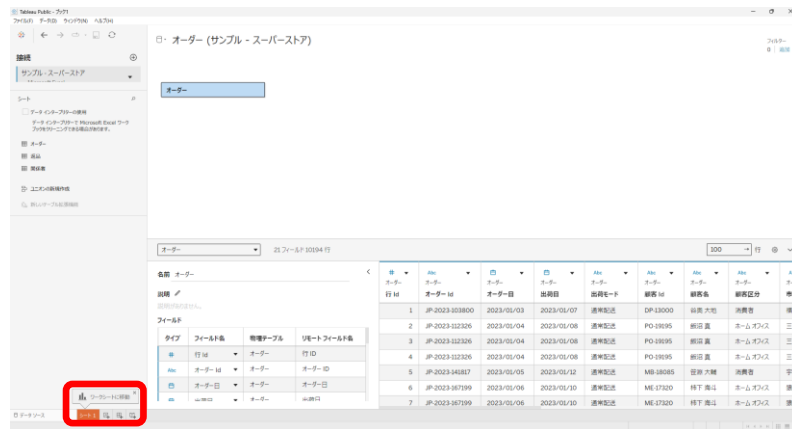
- 今回は「オーダー」シートを使います。「**オーダー**」をクリックし、画面の右側にドラッグ&ドロップしてください。
- 「返品」「関係者」シートは今回説明しないテクニックで使う機会があります。
- これらのシートを使う機会は、他の方の解説書や解説ブログ記事でも登場することがあります。



データソースページは（今回は）触らない

「オーダー」シートを読み込んだ状態です。この画面を「データソース」ページと呼びます。

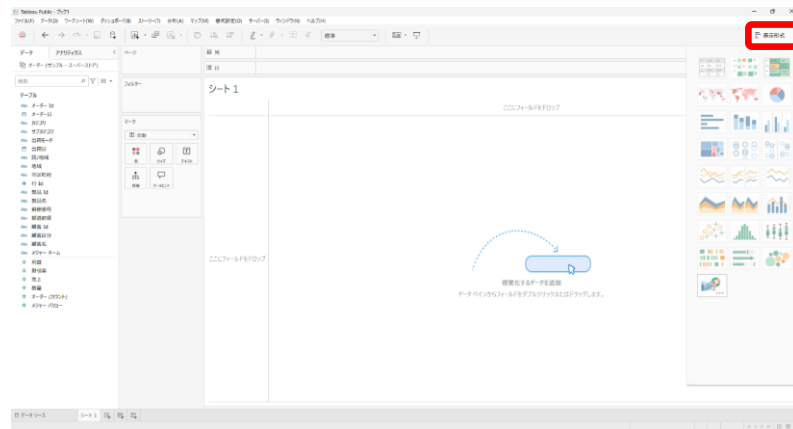
- 画面の右下には、「オーダー」シートのデータの内容の一部が見えています。
- この画面で色々と操作をする機会もありますが、今回はそのままのデータソースを使用するので、画面左下の「シート1」をクリックしましょう。



まっさらなワークシート画面からスタート

「シート1」をクリックし、ワークシート画面に移った状態です。

- 画面右側に、作りたいチャートに近いものを選ぶ「表示形式」メニューがあります。
- これはこれで便利なのですが、今回は使いません。「表示形式」の文字をクリックすることで非表示にすることができます。



FTC

Fukuoka Tech Community



QTUG

Kyushu Tableau User Group

チャートの作成 ひとかたまりの棒をグラフにする



この考え方をまずは頭に入れてほしい

これまでのFukuoka Tech Community勉強会などでも繰り返し主張していること。

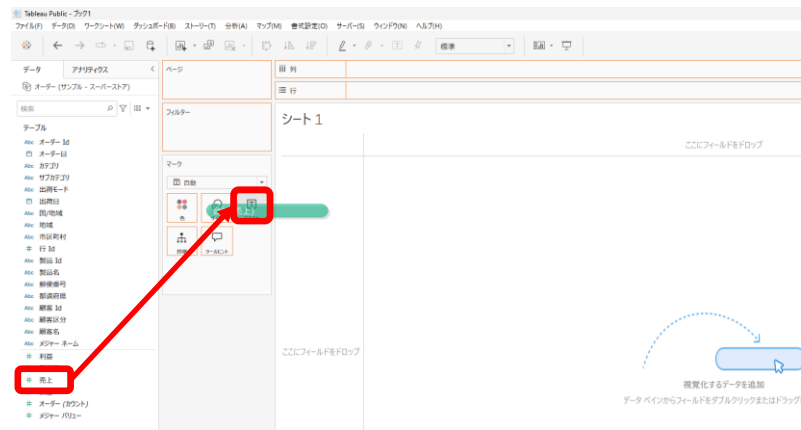
- Excelは「積み上げ」、Tableauは「切り分け」
- これから行う操作をテキストでまず表すと、
 - データソースの中の数値を**全て**読み込んで
 - **好きな方向に**ざっくり切り分けて
 - もう一度細かく切り分けて
 - きれいに盛り付けるというイメージです。



まずはパンケーキをお皿に載せよう

「表示形式」を非表示にした、まっさらなワークシート画面です。まださっきのパンケーキはお皿に載っていません。

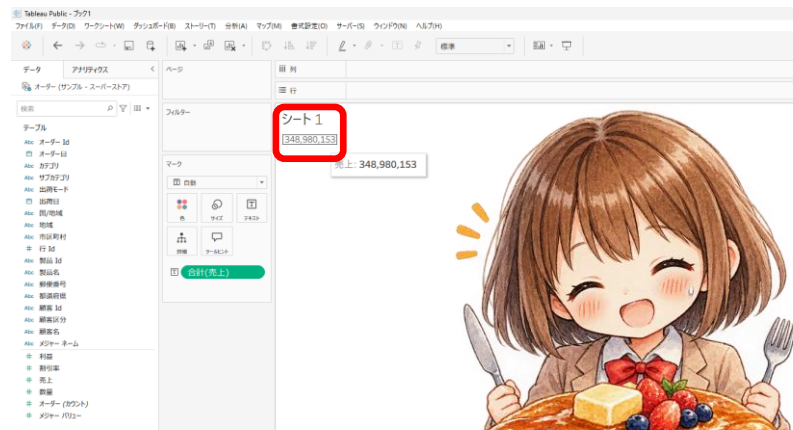
- 画面左側に、元のデータソース（サンプル-スーパーストア.xlsx）の列名が並んでいます。ここを「**フィールドペイン**」と呼びます。
- フィールドペインから**[売上]フィールド**をクリックして、「**テキスト**」マークにドラッグ&ドロップしてください。



パンケーキの最初の重さは？

「テキスト」マークに[売上]フィールドをドロップすると、その数値（メジャー）の合計が表示されます。

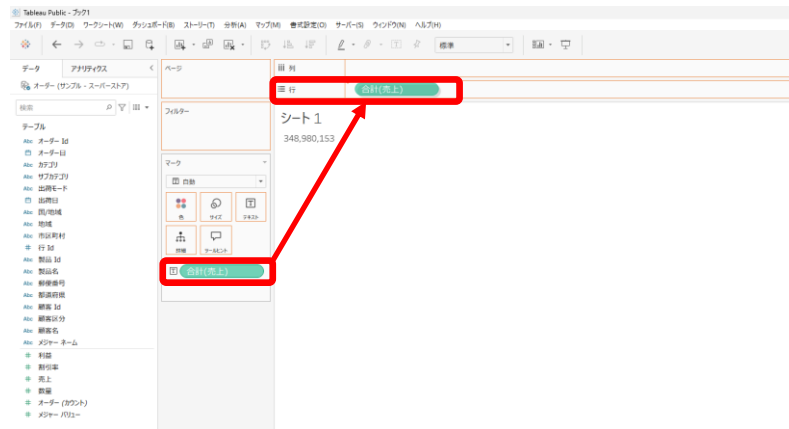
- 初手で数値を持つフィールド（「メジャー」といいます）をドロップすると、**切り分ける前=合計の数値**が表示されます。
- ここでは「**348,980,153**」という数値が表示されました。これはサンプル- スーパーストア.xlsxの「オーダー」シートの「**売上**」列の**全ての行の合計の値**です。
- パンケーキにたとえると「重さ」と思ってください。やたらデカイけど。



数値を確認したら、棒グラフにしてみよう

数字じゃピンとこないなので、グラフにしてみましょう。

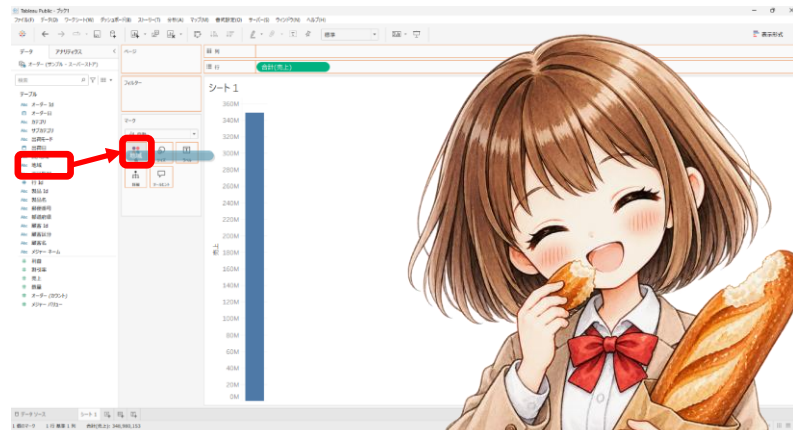
- **[売上]フィールドをクリックして、今度は「行シェルフ」にドラッグ&ドロップしてください。**



パンケーキというよりは、フランスパン……

「行シェルフ」にメジャーをドロップすると、縦向きの棒グラフが表示されます。

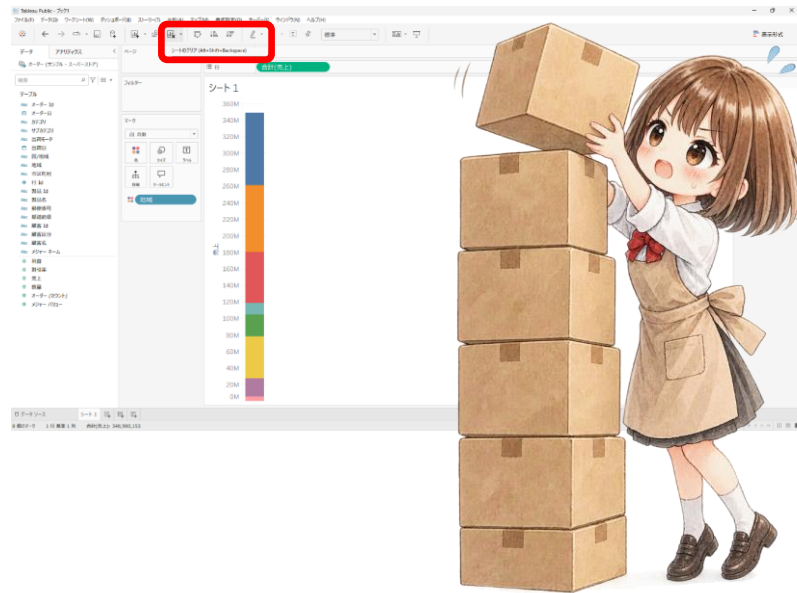
- さっきパンケーキのたとえをしましたが、どちらかというと長いフランスパンですね。え、フランスパンに見えない？そこは心の眼でひとつ。
- ここから「切り分け」に入ります。**[地域]フィールド**をクリックして、今度は**「色」マーク**にドラッグ&ドロップしてください。



「地域」というナイフで切り分けられました

[地域]フィールドという区分（ディメンション）でパンケーキまたはフランスパンが切り分けられました。

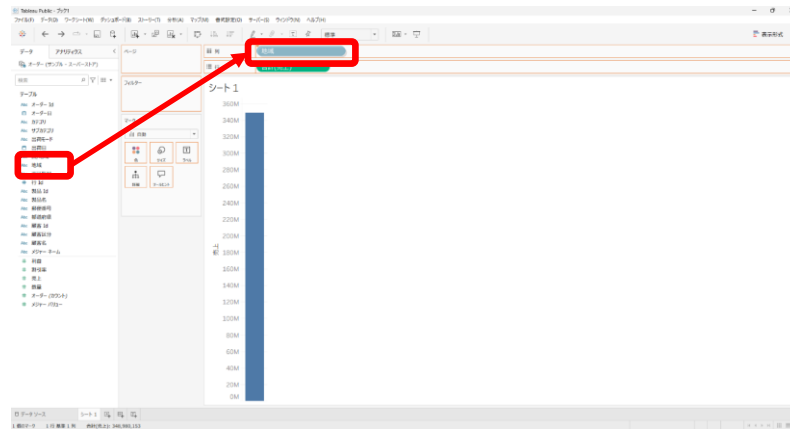
- それぞれの地方にあたる数値でグラフが切り分けられています。関西地方（青）と関東地方（オレンジ）が特に長いみたいですが、どちらが長いかわと目で分かりますか？
- どちらが長いかを確実に判別するために、ちょっとやり直してみましよう。画面上部の「**シートのクリア**」ボタンを押してください。



ナイフを入れて、積み重ねをバラす

再び「行シェルフ」にメジャーをドロップして、縦向きの棒グラフが表示されるところまでリピートしてください。

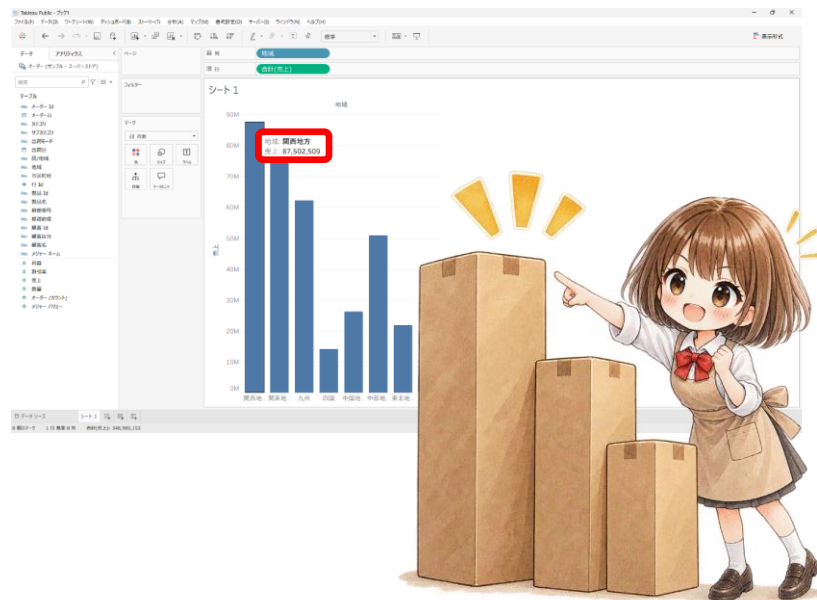
- さっきの色分けのものは、「切り分けたけど、そのまま重ねていた」というイメージです。
- 今度は「切り分けた後に、積み重ねずに横に並べる」ようにします。**[地域]フィールド**をクリックして、「**列シェルフ**」にドラッグ&ドロップしてください。



ナイフを入れて、積み重ねをバラす

「列シェルフ」にディメンションをドロップすると、棒グラフが横方向に切り分けられて表示されます。

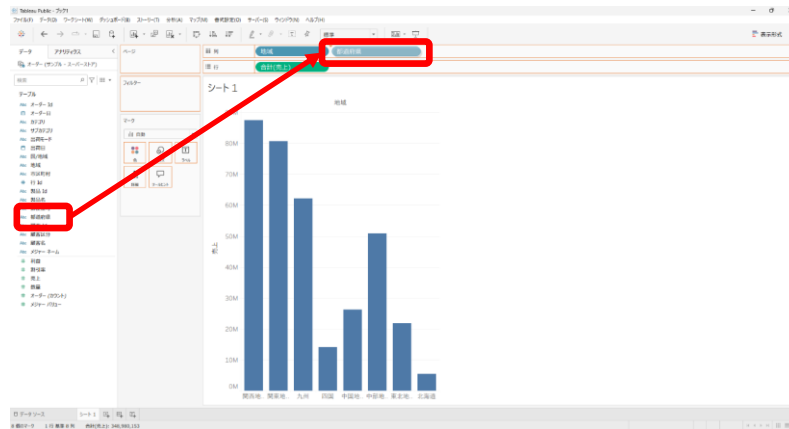
- 先ほどの1本の棒状に積み重ねた状態では、関西地方と関東地方のどちらが長いかわかりませんが、**バラして横に並べると**すぐにわかりますよね。
- 「この場合においては」、**棒グラフを使うことが各地方の数値の大小を比較しやすい表現**、ということになります。
- 実際の値（売上）は「テキスト」マークを使ってラベルとして表示してもいいのですが、「ツールヒント」でポップアップ表示も可能です。



さらに細かく切り分けてみましょう

なんでラベルを表示しなかったのか？これからさらに細かく切り分けるからです。

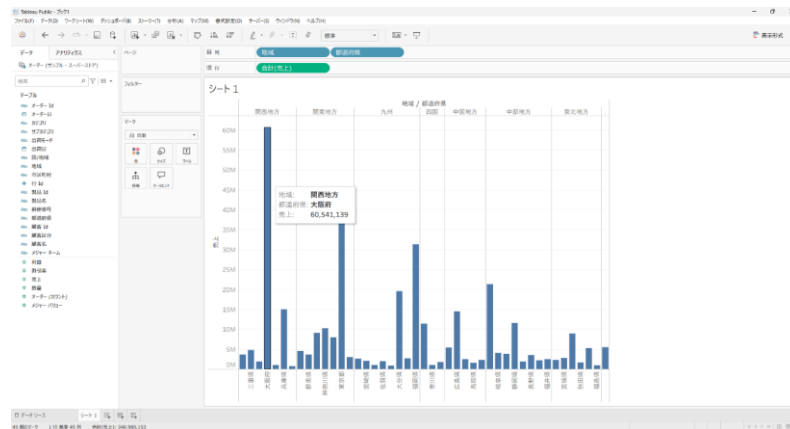
- 切り分け方はかなり柔軟に設定できます。「地域」よりさらに細かく「都道府県」で切り分けてみましょう。
- 列シェルフに配置済の[地域]フィールドの右側になるように**[都道府県]**フィールドをドラッグ&ドロップしてください。



8本の切り分けから、45本の切り分けへ

「都道府県」のディメンションで切り分けられたグラフを、「地域」という箱ごとに整理したイメージです。

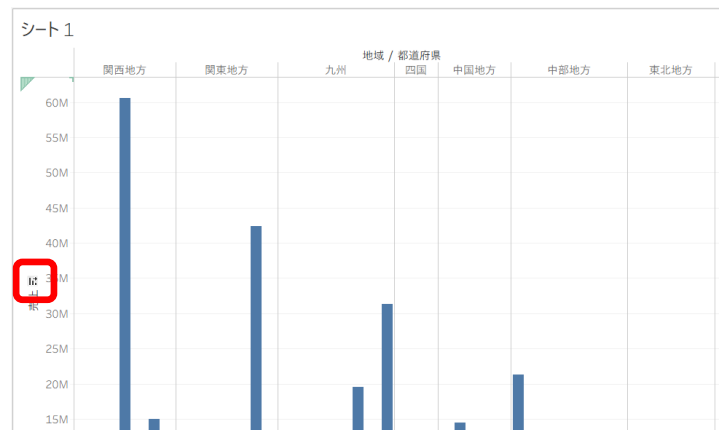
- 今回はスライドに反映していませんが、[都道府県]フィールドの右側に、さらに[市区町村]フィールドをドロップすると、227本の細かさまで切り分けられます。
- 「47都道府県」なのに45本？市区町村レベルだと1,700本以上になるんじゃないの？というところは喋り限定で……



「地域」の箱ごとに、整理整頓してみましょう

「地域」の箱ごとに棒（もうパンって言わんのかい）を分けたのなら、せっかくなら大きい順に並べたいですね。

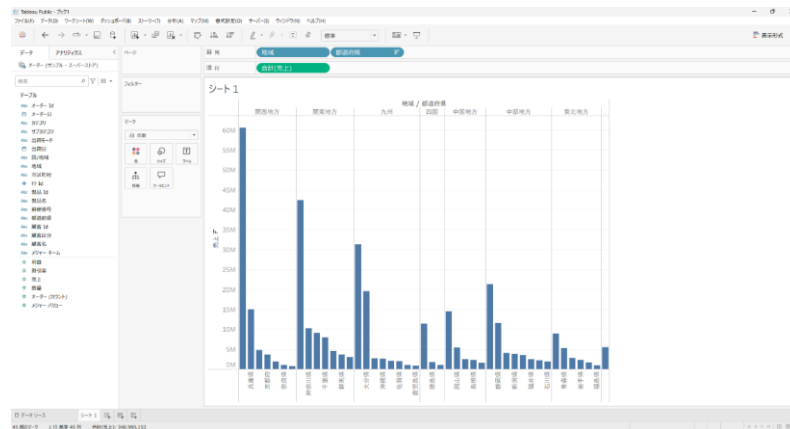
- 表示が小さくてわかりにくいですが、**グラフの軸の部分にある「売上」のラベル**付近にマウスを重ねてください。
- 小さな、とても小さなマークが表示されます。このマークをクリックしてください。



箱ごとに、数値が大きい順になりました！

「地域」の箱ごとに、数値が大きい順（降順）に並びました。

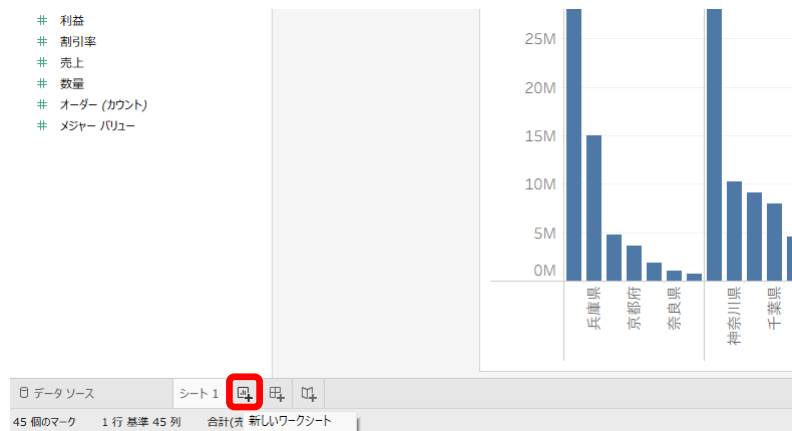
- 先ほどの小さなマークをクリックするごとに、
「昇順」→「元の順番」→「降順」……のように並びを変化させることができます。



違う「切り分け」でもう一度やってみましょう

今度は、「地域」ディメンションとは別のディメンションで切り分けてみましょう。

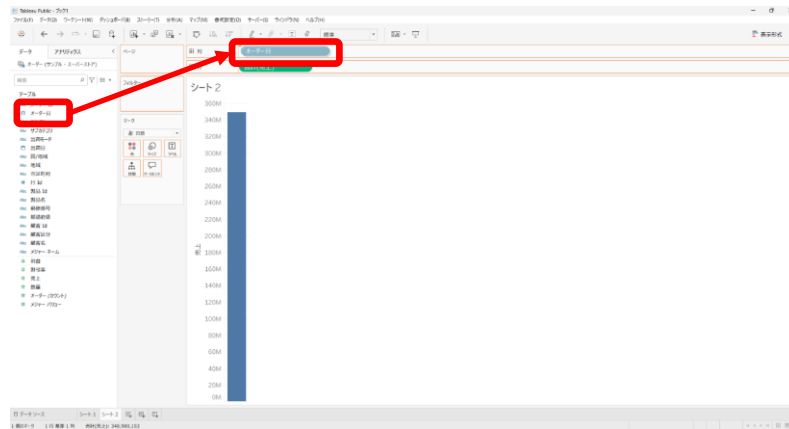
- 「シートのクリア」をするのはもったいないので、別シートで新たにやっていきましょう。
- 「シート1」の右側に、「**新しいワークシート**」ボタンがあるので、それをクリックしてください。



1本の棒を「何で」切り分ける？

最初の手順はもう3回目なので大丈夫ですね。「行シェルフ」にメジャーをドロップしてください。

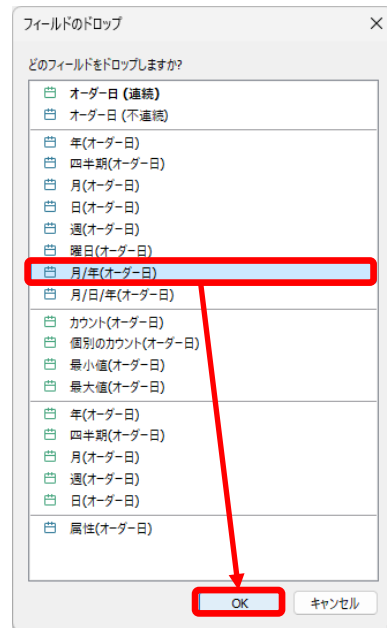
- 今度は、「地域」は分けなくていいけど「月ごと」に切り分けることにします。
- **[オーダー日]フィールドを右クリックしながら、「列シェルフ」にドラッグ&ドロップしてください。**
- **わざわざこれまでの色味を無視して赤字で書くほどに、小さいながらも重要なポイントですココ。**



なぜ「右クリック」でドロップさせたか？

「日付」の性質を持つフィールドは、右クリックでドロップを習慣に！

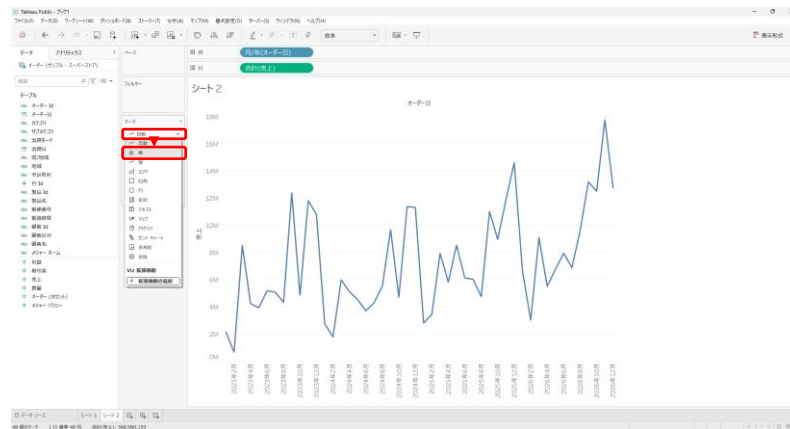
- [オーダー日]フィールドのような「日付」または「日付と時間」の性質を持つフィールドは、**日付の粒度を自由を選ぶ**ことができます。
- **右クリックしながらドロップすることで、その粒度をすぐを選ぶことができますので、初学者の段階で習慣付けるようにすると良いです。**
- 今回は、「**月/年**」を選んでください。



月ごとに切り分けられた！

「月/年」のディメンションで切り分けられた数値を、折れ線グラフで表示してくれました。

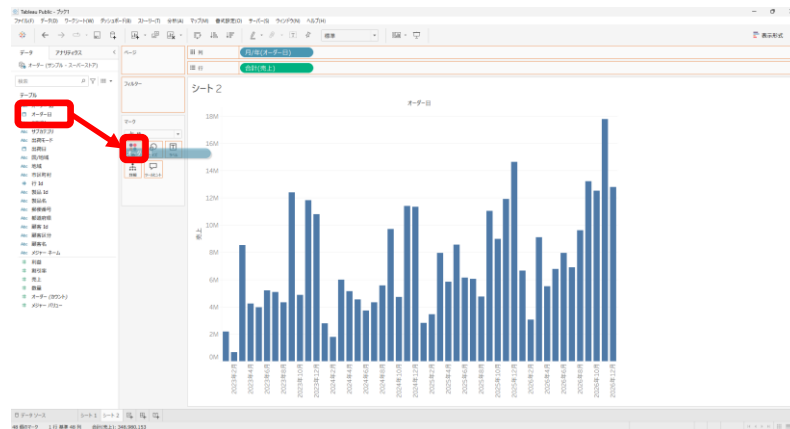
- どのグラフで表示するかはTableau側で自動判断してくれます。
- もし、折れ線じゃなくてさっきみたいな棒グラフにしたいなあ……という場合は、**「マーク」を「自動」から「棒」に変更してください。**



「48ヵ月」じゃなくて「12ヵ月×4」にしたい

48ヵ月分、48本の棒グラフができあがりました。売上に時期的な傾向ってあるんでしょうか……？

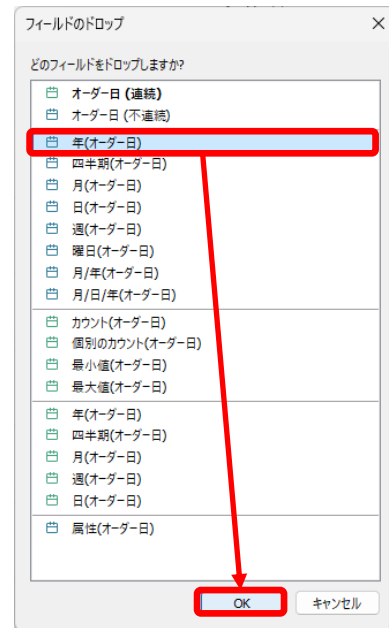
- どうやら各年の同じ時期には似たような売上の傾向がある……？ように見えますがはっきりしません。
- 年ごとに、「12ヵ月×4」に分けてみたいですね。
- [オーダー日]フィールドを**右クリックしながら、「色」マークにドラッグ&ドロップ**してください（本日2度目の赤字）。



「右クリック」でドロップ（2回目）

「日付」の性質を持つフィールドは、右クリックでドロップを習慣に！

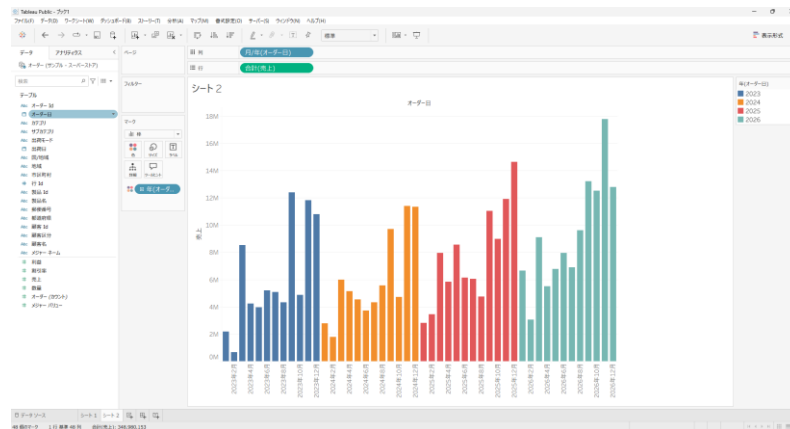
- [オーダー日]フィールドのような「日付」または「日付と時間」の性質を持つフィールドは、**日付の粒度を自由を選ぶ**ことができます。
- **右クリックしながらドロップすることで、その粒度をすぐを選ぶことができますので、初学者の段階で習慣付けるようにすると良いです。**
- 今回は、「年」を選んでください。



下半期の方で売上が上がっているみたい

48ヵ月分、48本の棒グラフを「年ごと」に、12本ずつ同じ色で塗り分けされました。

- 2023年、2024年、2025年、2026年のそれぞれに色が割り当てられ、12本で1セットの組み合わせとなりました。
- 完全な右肩上がり……ではありませんが、下半期から年末に向かって売上が上がっており、1月にドカンと落ち込んでいるようです。



FTC

Fukuoka Tech Community



QTUG

Kyushu Tableau User Group

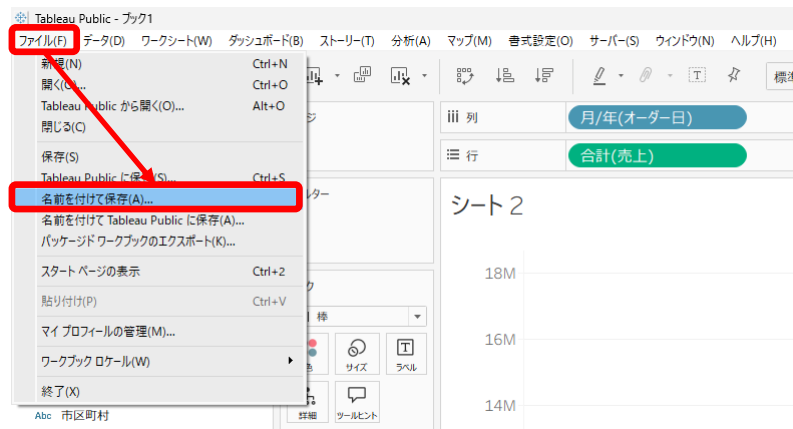
ワークブックの保存 (ローカルファイル)



ワークブックをパソコンのローカルに保存

ここまでで「シート1」「シート2」の2つのシートを作成しました。これらのシートを組み合わせる「ダッシュボード」を作ることがTableauの本領なのですが、それはまた別の機会に……！

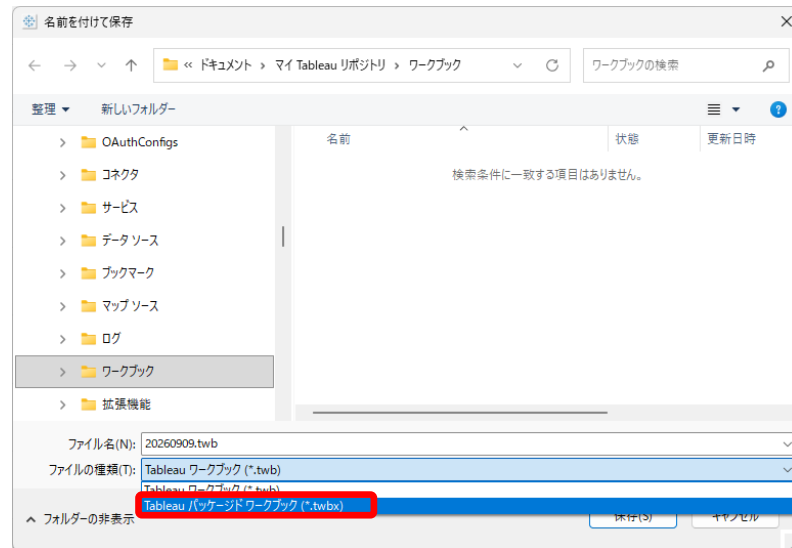
- 作ったワークシートを保存しましょう。まずはパソコンの中にローカルファイルとして保存する手順です。
- 画面左上の「ファイル」から「名前を付けて保存」を選んでください。



最初のうちは「*.twbx」がおすすめ

ワークブックをローカルに保存する場合に、ファイルの種類は2つ選ぶことができます。

- 「Tableau ワークブック(*.twb)」と「Tableau パッケージド ワークブック(*.twbx)」のどちらを選ばいいのでしょうか？
- 最初のうちは、**「Tableau パッケージド ワークブック(*.twbx)」**を選んでください。データソースごと同じファイルに保存するので、ファイルを移動させたりしたときでも問題が生じません。
- デフォルトの保存先は[ドキュメントフォルダ]>マイ Tableau リポジトリ>ワークブックとなっています。



FTC

Fukuoka Tech Community



QTUG

Kyushu Tableau User Group

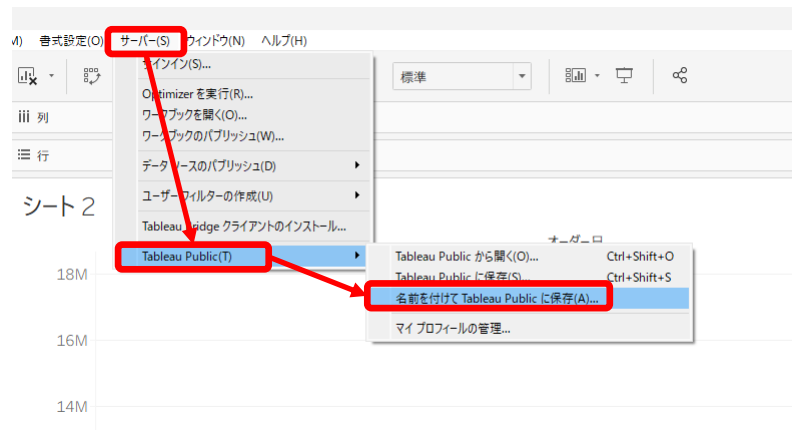
ワークブックの保存 (Webにパブリッシュ)



ワークブックを「パブリッシュ」

Tableau Desktop Public Editionは、「**Tableau PublicのWebサイト**」にワークブックを公開（パブリッシュ）することもできます。※2024年4月までは、むしろローカルファイルの保存はできず「パブリッシュ」一択でした。

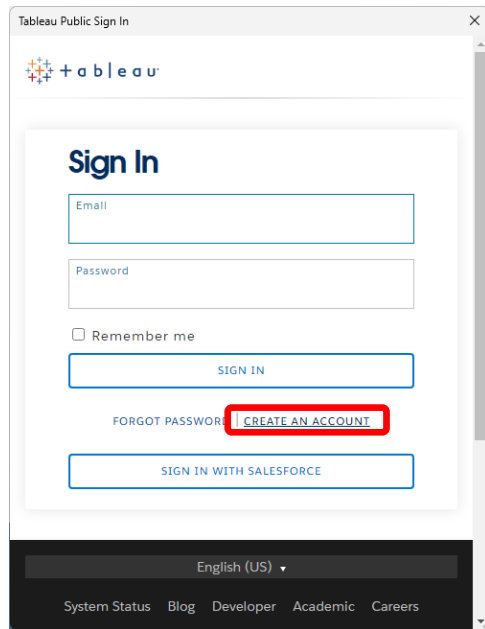
- 作成したワークブックを「Tableau PublicのWebサイト」を通じて公開しましょう。
- 画面上部の「サーバー」から「Tableau Public」を選び、「名前を付けてTableau Publicに保存」を選んでください。



パブリッシュするにはアカウント登録が必要

Tableau Publicにワークブックをパブリッシュするためには、アカウント登録が必要です。

- ワークブックをパブリッシュする先は、「アカウント登録済のTableau Publicユーザーの領域」となります。
- 今日の受講者は初めてTableauを触るという想定ですので、「**CREATE AN ACCOUNT**」を選んでください。



アカウント作成画面

アカウント登録に必要な情報は多くはありません。

- 「名前」「姓」「メールアドレス」を入力し、パスワード（大文字と小文字を区別し、1つ以上の数字と記号を組み合わせ、8文字以上100文字以内）を設定してください。
- 必要事項を入力したら、「**マイアカウントの作成**」をクリックしてください。

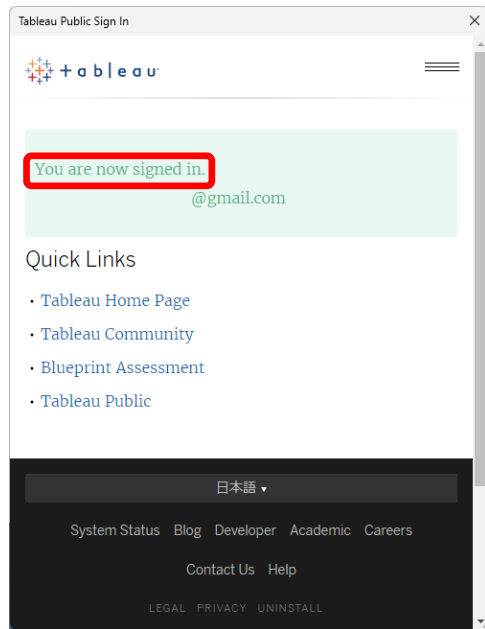


The screenshot shows the 'Tableau Public Sign In' window. The main heading is 'Tableau アカウントを作成' (Tableau Create Account). Below it are five input fields: '名' (First Name), '姓' (Last Name), 'メール' (Email), 'パスワード' (Password), and 'パスワードの確認' (Confirm Password). Below the fields is a password requirement note: 'パスワードは大文字と小文字を区別し、長さは 8 文字以上 100 文字以内です。少なくとも 1 つの数字 (0 ~ 9) と 1 つの記号が必要 です。: " ' \ \ / \ % & ' () ~ + , - . / ; < = > ? @ [] ^ _ ` { | } ~'. At the bottom is a button labeled 'マイアカウントの作成' (Create My Account), which is highlighted with a red rectangle. Below the button is a link for existing users: 'アカウントをすでにお持ちの場合、 [サインイン](#)'.

アカウント登録完了

アカウント登録が成功すると、「あなたはいまサインインしています」というメッセージが表示されます。

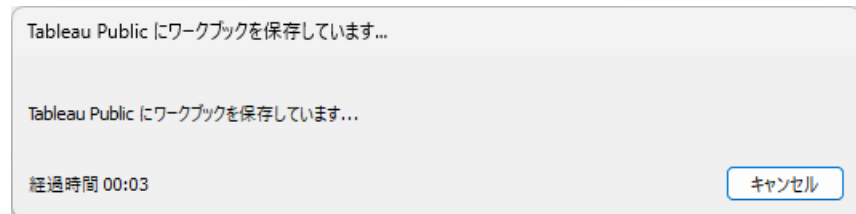
- このウィンドウは自動で消えますので、操作をする必要はありません。



ワークブックをTableau Publicに保存

アカウント登録の成功画面が消えると、確認画面が表示されます。

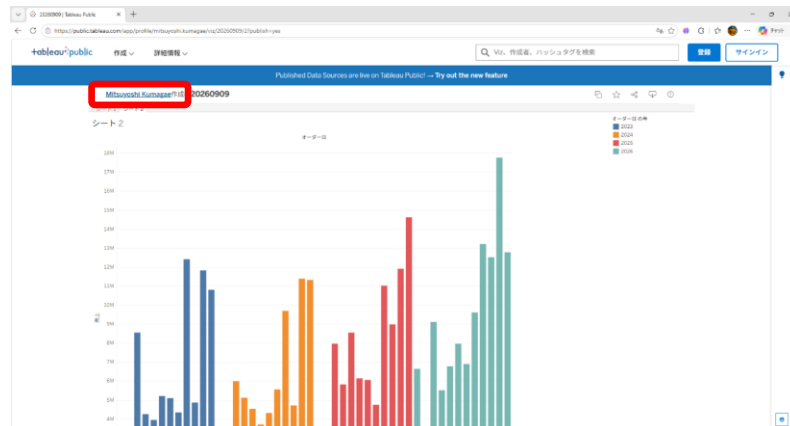
- ワークブックのタイトルを変更したい場合は、このタイミングで変更してください。
- 確認画面にも表示されていますが、Tableau Publicにワークブックをパブリッシュすると、全世界に公開されることになります。**非公開または機密情報を含むワークブックはパブリッシュしないようにしてください。**
- 「保存」を押すと、下段のような保存画面がしばらく表示されます。



あなたのVizが全世界に公開されました！

これで、あなたが作成した習作ワークブック（Viz）は全世界に公開されました！

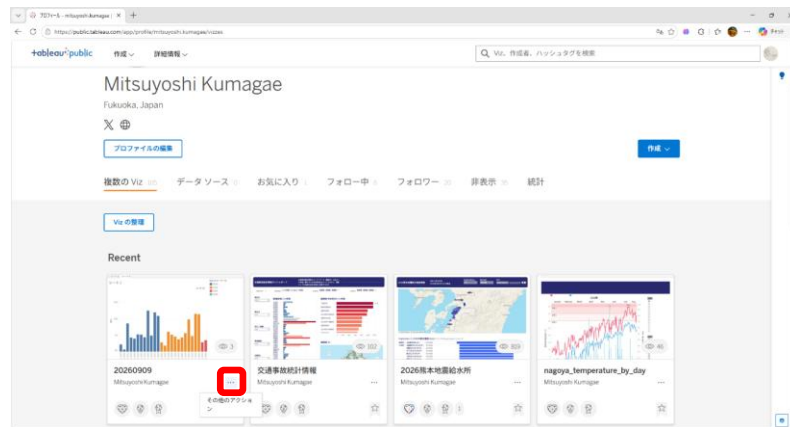
- とはいえ、完成していないものを公開するのはちょっと……という気持ちもわかります。youtubeの「限定公開」のようなレベルですが、非表示にする方法をお伝えします。
- 公開されたワークブック画面から、**ご自分のユーザー名のリンク**をクリックしてください。



ユーザーページから非表示にしたいVizを選ぶ

公開されたVizは、あなたのユーザーページ（プロフィール）に一覧で表示されています。

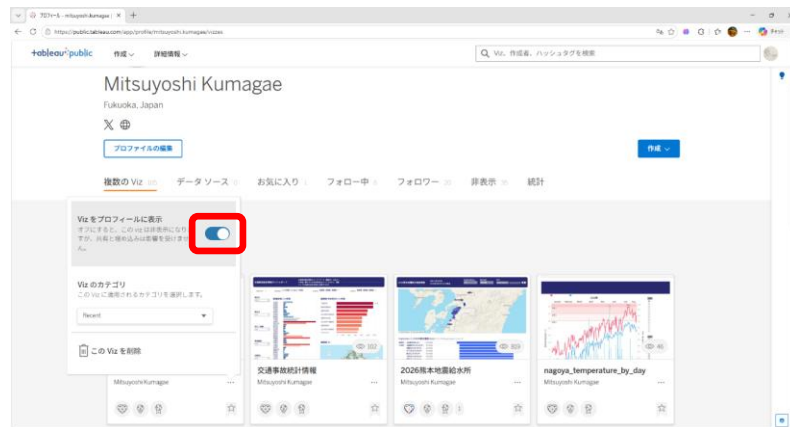
- 非表示にしたい未完成Vizの右下にある「…」のボタンをクリックしてください。



ユーザーページから非表示にしたいVizを選ぶ

「非表示」設定は、あなたのユーザーページ（プロフィール）からは見えなくする、という設定です。

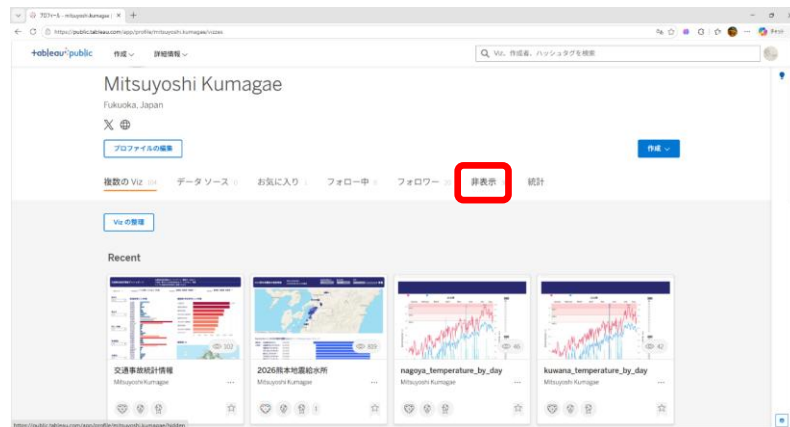
- 「…」のボタンをクリックして表示される「**Vizをプロフィールに表示**」のトグルスイッチをクリックして、青色からグレーに変更してください。



非表示にしたVizはいまどこにある？

「非表示」設定は、あなたのユーザーページ（プロフィール）からは見えなくする、という設定です。

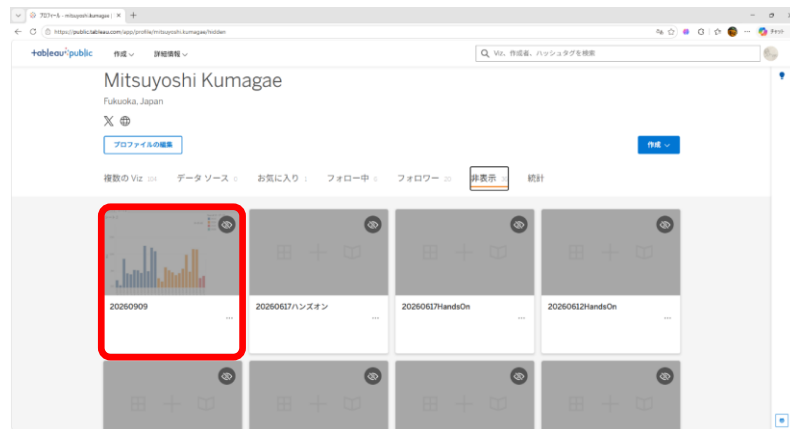
- プロフィールページからは見えなくなりました。
そのVizはどこに行ったのか？
- 実はプロフィールページにログインしているあなただけには「非表示」タブが見えているので、そこをクリックしてください。



非表示にしたVizはいまどこにある？

「非表示」設定は、あなたのユーザーページ（プロフィール）からは見えなくする、という設定です。

- くりかえしますが、あくまで「非表示」なので、アクセス制限などを行っているわけではありません。
- VizのURLをメールやSNSなどで直接他人に伝え、ログインしているあなた以外でもVizを表示できてしまいます。



FTC

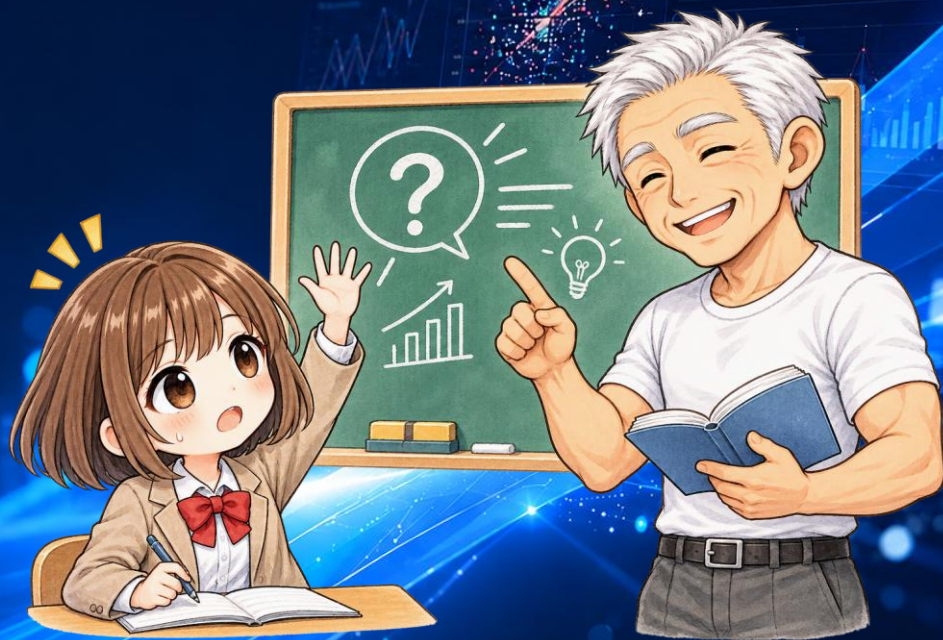
Fukuoka Tech Community



QTUG

Kyushu Tableau User Group

本日はここまで！
(質疑応答タイム)



ご清聴ありがとうございました！

本日の勉強会は以上で終了です。アンケートのご協力をお願いします。
アンケートの内容は以下のような項目ですので、お気軽にご記入を！

- あなたとTableauとのスタンス
- 勉強会の参加動機
- 講座の理解度・満足度
- 今後希望するテーマ
- 自由記述（講座への意見・質問、FTCやQTUGへの意見・質問）



次回の「Fukuoka Tech Community 第14回勉強会」は**10月14日（水）18:30～20:00開催予定**です！
（次回もQTUGとのダブル冠とするかは未定！）

おまけページ（バックナンバー紹介）

今回（第13回）はTableau Desktop Public Editionの初級編でした。過去のFukuoka Tech Community勉強会では、Webブラウザからのワークブック編集にて、初級から上級まで色々なテクニックを紹介しています！

第1回勉強会（2025年4月23日）

https://note.com/fukuoka_tech/n/n7ca4ee5c024a

- この回は初回ということもあり、「Tableauとは」という話と、サンプルダッシュボードを「Viewerとして」操作する体験会としました。
- リクエストがあれば、組織内へのTableauの展開のために、同じようにViewer向けの操作方法を解説する回を改めて開催してもいいかも。

Fukuoka
Tech
Community

おまけページ（バックナンバー紹介）

第2回勉強会（2025年5月7日）

https://note.com/fukuoka_tech/n/n09e10de5b187

- この回から、Tableauワークブックを実際に編集する形をとっています。
- 編集する回としては初ということもあり、データソースの接続手順には触れず、サンプルダッシュボードを「**コピーして作成**」することで編集を始める形としました。
- 作成するチャートは開催前にアンケートを行い、リクエストが多かったものを選んでいきます。
- 「**一般的な縦横表**」「**折れ線グラフ（+二重軸）**」「**積み上げ棒グラフ**」の3つのチャートについて解説しました。

Fukuoka
Tech
Community

おまけページ（バックナンバー紹介）

第3回勉強会（2025年6月11日）

https://note.com/fukuoka_tech/n/n6707200db410

- 第2回勉強会の開催直前に、総務省統計局のTableau Publicを活用した各種ダッシュボード「**統計Viz** (<https://www.stat.go.jp/viz>)」の情報が飛び込んできたことから、急遽第3回はそちらを解説する回としました。
- 「なんでTableauワークブックの初期設定サイズは横幅1,000pxなの?」「ダッシュボードのサイズを「自動」にしないの?」「画面内に文字や数字（ラベル）が少ないのはなぜ?」といった点も解説しています。
- 統計Vizは多くの種類のチャートを使っているので、「Tableauはこんなチャートが作れるんだ」ということを知るのに良い題材でした。

Fukuoka
Tech
Community

おまけページ（バックナンバー紹介）

第4回勉強会（2025年7月2日）

- 第4回勉強会は、クローズド開催としたためnote記事のレポートやスライド資料の共有はありません。

Fukuoka
Tech
Community

おまけページ（バックナンバー紹介）

第5回勉強会（2025年9月10日）

https://note.com/fukuoka_tech/n/n825ce5200548

- この回では、今回も紹介した考え方「**Excelは積み上げ、Tableauは切り分け**」について解説しました。
- また、この回でしれっと紹介した「**並び順用のディメンションを先に配置して、「ヘッダーの表示」をオフにする**」という小技は、実務で使う場面がけっこう多いので確認しておいてください。
- また、作成経過をはしょっているのでスライドだけでは難しいかもしれませんが、「**割合での表現**」や「**非表示と除外の違い**」についても解説しています。

Fukuoka
Tech
Community

おまけページ（バックナンバー紹介）

第6回勉強会（2025年11月5日）

https://note.com/fukuoka_tech/n/ncb5a42ea6253

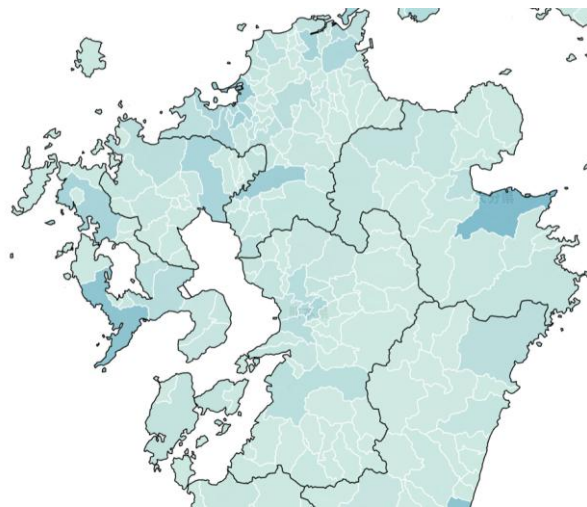
- この回では、「Tableauの地図表現」にフォーカスを絞り、さまざまなマップについて紹介しています。
- ハンズオンパートでは事前に「こんなことできるんですか？」という質問をいただいた内容を取り上げたため、**INTERSECTS関数**と**メッシュマップ**という、上級者向けにあたるテクニックを紹介しています。

Fukuoka
Tech
Community

おまけページ（バックナンバー紹介）

第7回勉強会（2025年12月17日） https://note.com/fukuoka_tech/n/na8408d10bde4

- この回では、実務で使う機会が多そうな「日本の市区町村の色塗り地図」を作成する回としています。
- 実は「福岡市博多区」「福岡市中央区」……という「**政令市の区を区切った**」形の色塗り地図の作成はそこまで難しくないのですが、「福岡市」という「**政令市は区で区切らない**」形の色塗り地図は少々テクニックが必要です。
- また、意外と「こうやればよかったのか!」という反応があった「**市区町村の境界と都道府県の境界を別の色で表現して、色塗り地図をスタイリッシュにする**」というテクニックも紹介しています。



おまけページ（バックナンバー紹介）

第8回勉強会（2026年1月7日）

https://note.com/fukuoka_tech/n/n5f49c6facc01

- この回は、より実務寄りの観点で二重軸グラフやガントチャートについて解説しています。
- 二重軸グラフの解説では「横持ちデータ」「縦持ちデータ」についても説明しています。
- ガントチャートの解説では「年単位（●●計画の一覧など）」と「日単位（業務の進捗など）」の2つを取り上げました。

Fukuoka
Tech
Community

おまけページ（バックナンバー紹介）

第9回勉強会（2026年2月4日）

https://note.com/fukuoka_tech/n/n8843331aa98a

- 過去最高の169枚のスライドを使った、現時点で最も上級者向けの回です。
- 「フィルターアクション」のパートでは、ダッシュボード内に配置した複数のシートにおいて、「**シートAを操作したら、連動してシートBの表示も変わる**」というテクニックについて解説しています。
- ガントチャートのパートでは「分単位（来庁者の滞在時間など）」について表現するテクニックについて解説しています。
- 勉強会というよりは、「MKがふだん実務のワークブックで使っているテクニックを徹底解説」という感じでした。

Fukuoka
Tech
Community

おまけページ（バックナンバー紹介）

第10回勉強会（2026年3月4日）

https://note.com/fukuoka_tech/n/n4cfb57773074

- 第9回まではだんだんと上級者向けの内容に傾いていたので、この回でいったん難易度をリセットしました。
- この回でも、今回も紹介した考え方「**Excelは積み上げ、Tableauは切り分け**」について解説しています。
- 第10回と第11回では「**サンプル - ローカルガバメント**」と称して、総務省の「住民基本台帳に基づく人口データ」を基にした自治体職員向けの共通サンプルファイルを作ってみました。

Fukuoka
Tech
Community

おまけページ（バックナンバー紹介）

第11回勉強会（2026年4月15日） https://note.com/fukuoka_tech/n/n5ec328bf0bba

- この回でも、今回も紹介した考え方「**Excelは積み上げ、Tableauは切り分け**」について解説しています。
- 第10回と第11回では「**サンプル - ローカルガバメント**」と称して、総務省の「住民基本台帳に基づく人口データ」を基にした自治体職員向けの共通サンプルファイルを作ってみました。
- この2つの回は、今後も同様・類似の勉強会を行う可能性があるため、模範解答はスライドには掲載していません。

Fukuoka
Tech
Community

おまけページ（バックナンバー紹介）

第12回勉強会（2026年6月17日）

https://note.com/fukuoka_tech/n/n1fc0878aea96

- この回でも、今回も紹介した考え方「**Excelは積み上げ、Tableauは切り分け**」について解説しています。この回から、パンケーキちゃん（仮称）を使うようにしました。
- 開催直前の5月末に「**令和7年国勢調査 人口速報集計**」が公表されたことから、旬のデータを使ってTableauの基本的な操作をおさらいしよう、という回となりました。
- 実は、同時期に「**経営・財務マネジメント強化事業**」アドバイザーとしてとある市の「**データ可視化ハンズオン**」を開催し、同じデータを使って類似の内容で組み立てています。
- そのため、第12回は「**Webブラウザからのワークブック編集**」について、一通りの基礎を学べる構成となっています。

